

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 足久保らくじゅの家
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	静岡県静岡市
記入者名 (管理者)	山本みどり
記入日	平成21年3月20日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>法人の理念「高齢者への尊厳」4つの具体的な項目を熟慮し、事業所の理念としており介護に従事しています。これに加え、「地域の方との交流を大切にする」との思いを強く意識しています。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>フロア内に理念を掲げ、引き継ぎ時を利用し朗読し共有しています。理念を念頭に毎月目標を立て実践に向けて取り組んでいます。職員会議時に実践内容を報告し常に意識するよう努めています。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ホームの理念を明示し、利用契約時や運営推進会議時に分かりやすく説明し理解が得られるよう取り組んでいます。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>隣近所の方との日常的な挨拶は勿論、同じ町内の方が利用している為、地域の方の面会も頻繁で毎日のように気軽に立ち寄っていただいています。高齢の方が徒歩やシルバーカーで寄って下さり嬉しく思います。ホーム内で他の利用者とも顔馴染みになりとても良い雰囲気です。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会に出席し、ホームの説明をしたり、町内行事(夏祭りやふれあいの会あしくぼく公民館にて)・防災訓練等)にも参加し、地域の方から気楽に声を掛けて下さり楽しい時間を一緒に過ごしています。地元小学校や中学校からも催し物や運動会・お茶会のお誘いを受け、積極的な交流に努めています。</p>	<p>○ 小学校や中学校へそれぞれ出席のお礼状をご利用者にご書いていただき、校長先生や生徒さんからご返事をいただく等、暖かい交流が有り難いです。今後も続けていきたいです。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方の面会時を利用しホーム内での生活を説明することで質問に応じたり、同じ年代の方が多いため、時としてアドバイスさせていただくこともあります。11月11日の「介護の日」では、地域の方を対象に法人全体としてロールプレイを通し、介護についての悩みや相談を受け貢献しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム内での研修を利用し、自己評価及び外部評価の説明をしています。評価項目の内容を理解し、その内容に即したサービスが提供実践できるよう話し合う機会を持っています。	○	部署ごとの研修を行い、不十分な内容を取り上げ職員間で勉強し合っています。その際にケース検討会として評価を指針として個々への対応改善に取り組んでいます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回のペースで運営推進会議を行っています。項目通りの内容についての報告や意見交換を行い、サービスの向上に活かしています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者の運営推進会議への参加、地域包括支援センター職員の出席も毎回あります。又、介護保険課へは毎回会議内容報告書を送付しています。そして、運営上の疑問について、その都度連絡し指導して頂き、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ホーム内の研修を利用し、職員と権利擁護に関する制度の理解を勉強しております。必要な方には活用できるよう支援していきます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人副理事長の著書を熟読し、その内容についての施設内研修にも参加し学ぶ機会を持っています。又、ホーム内での研修も行い、常に意識することで防止に努めています。	○	研修の機会を繰り返し設定し常に意識するよう努めています。特に言葉遣いについては厳しく指導があります。運営推進会議でも現状を報告していきたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での施設内研修、ホーム内での部門研修、又、外部研修等、積極的に参加する機会を設け、常に勉強することで質の高いサービス提供に繋がるよう努めています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡協議会の研修時やその他の研修時に同業者との交流を持つ機会があり、相互に情報交換等しています。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人内各施設の職員間で親睦を深め悩みを抱え込まないよう常に会話を持ち、理解し補い合っています。ストレスについて現状をアンケート形式で把握し軽減に努めています。	○ ストレス軽減についての施設内研修が企画されたり、ホーム内で職員と面談する時間を設け個人の思いを受け留め、又、アドバイスしたりと悩みを抱え込まないよう取り組んでおり今後も定期的に取り組んでいきます。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の取り組みを把握し、適切な活動役割を設定したり、資格取得や研修への参加を促し、意欲を引き出せるような働き掛けに努めています。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族と相談に来られた際、本人が困っている事、生活面や健康面についての要望等を聞く機会を設け、ご意向に添えるよう努めています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話や直接相談に来られた際、お困りな事や要望等を伺い、真剣に受け取るよう努めています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご意向を伺いながら、生活面、健康面、経済面等を把握し、他の選択肢も含めた内容説明に努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居という形で少しの間、共に生活しながら徐々に雰囲気馴染んでいただけるような設定もあることを説明しています。現に体験入居を利用し、ご本人ご家族共に納得してサービスを利用いただいています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活面総てにおいて、共に暮らしながら一緒に食事の準備を楽しんだり、糠漬け、白菜漬け、梅干し漬け、畑の耕し方等を教えて頂いたり、それぞれに得意な事をお願いし寄り添う関係を大切にしています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時を利用し、近況を報告しながらサービス計画書に沿った支援についての相談をしたり、要望を伺ったり、本人の生活を豊かにする為のご協力を頂いています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族より過去の情報を多く収集し、相互の気持ちを理解しながら不安や要望等を伺う機会を作り良い関係が保てるよう支援しています。出向いて下さったお礼を後日電話や手紙で伝える等支援しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人、町内の方の面会等、自室で共に過ごす時間を大切にしながら、お茶出しをし、最近の生活状況を説明したり面会時に写した写真を次回お渡しする等支援しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人ひとりの性格を把握し、気の合った方との交流を楽しめるような雰囲気作りをしたり、全員の方との和が持てるような活動をする等、努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	築いてきた関係を大切にし、いつでも相談を受ける体制であることを伝えています。高齢者総合福祉エリアを持つグループホームということで受け入れ体制が整っていますので、それぞれの施設の生活相談員と連携し支援しています。退去されたご家族が尋ねて下さったりしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの状態像、生活特性、どんな生活を希望されているのか定期的に居室へ伺い把握したり、困難な方には日頃の会話や行動より思いを読み取り職員間で検討し利用者本位のケアが出来るよう努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	過去の情報をより多く収集することで今まで生きてこられた人生やその方のこだわりを知り、共に生きていく姿勢を大切に考えています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメントに基づいて、利用者主体の目標を立て、その人らしさを大切にした暮らしが出来るように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケース検討会を持ち、ご本人、ご家族、職員からの情報で一人ひとりのケアを話し合い統一した見解で介護計画を作成しています。作成後ご家族に説明し、同意を頂いています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に職員間で評価、見直しを行っています。変化に応じてご家族に報告相談し、常に現状に即したケアに努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に添ったカルテ記録をしています。日中、夜間と分け誰が見ても情報を共有できるような記入方法とし、更に顕著な変化を介護施設経過に記録しています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	高齢者総合福祉エリア内での多職種との連携で、その状況に応じた適切な対応が提供できる協力体制が整っています。医療に関する医師・看護師との協力体制、栄養バランスについての管理栄養士からの助言・機能訓練士からのアドバイス、その他行事や慰問の参加等、様々な支援をしています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方と民生委員の方主催のふれあいの会に参加して交流を喜んだり、地域の幼稚園・小学生・中学生・高校生の慰問を受け共に楽しんだりと積極的な交流に努めています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人との関わり合いに応じて他のケアマネジャーとの連絡を密に調整することで適切なサービス提供に努めています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議のメンバーとして参加されており、必要に応じて連絡し合い協力合っています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保しながら、常にご本人、ご家族に相談し要望通りの対応を心掛け適切な医療が受けられるよう支援しています。	○	ご本人の健康管理を適切に行う為、かかりつけ医からの要望を受け、医師の了解を得、その方の情報提供をしております。今後も要望により対応していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的に1年に2回、認知症の専門精神科医の診断を受け相談しています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	高齢者総合福祉エリア内にある診療所の看護師や併設している事業所内の看護師と連携し、日常の健康管理、相談、医療活用の支援をしています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	診療所の医師・看護師と連携し、入院中の医療機関との連絡を密にし可能な限りの対応を図っています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合のあり方について、法人内での協力体制を説明し納得して頂き方針を共有しています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人、ご家族のご意向を大切に、グループホームとして出来る限りの対応に努めると共に、高齢者総合福祉エリア内の施設と連携し、適切な時期に適切な対応が出来る体制をご家族の了解の上、整えています。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ダメージを最小限に防止する為、ご家族や関係者と充分情報交換し言葉掛けを多くし、混乱がないよう配慮を心掛け必要時、サポートしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の権利を常に意識しながら、法人副理事長の著書「言葉遣いのチェックリスト」をお手本に言葉遣いでの厳しい指導があります。個人情報での取り扱いについては研修を受け周知徹底しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員は、個別援助技術法を研修等で勉強しながら一人ひとりの適切な対応ができるよう努めています。「自己決定を重んじる」は理念にも含まれ支援しています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には利用者の好きな事を選んでいただきご意向に添った活動としています。自分の居場所が確保できるような雰囲気作りに努めています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節やその場に応じた身だしなみのアドバイスをしています。特に女性は外出時のお化粧を大変喜び自然と顔がほころびます。希望により行きつけの美容院や床屋へ行かれる方もいらっしゃいます。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの能力を把握し、お手伝いをお願いしています。自ら手伝いを希望され意欲を引き出す良い機会となっています。出番の多い毎日に職員と一緒に生活を楽しんでいます。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶の種類や熱さ加減も好みをお聞きし対応しています。飲み方もその方のこだわりがあり支援しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その方の排泄パターンをチェックし、誘導することで失禁防止の支援としています。腹部マッサージを毎日の朝の体操の中に組み入れたり、起床時の冷水補給をしたりとそれぞれに支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	必ず本人のご意向を確認し、更に体調を確認し(血圧測定実施)入浴を支援しています。	○	現在、日中に設定しています。在宅では夜入るのが普通なのでこの点ご意向を伺うと「夜は夕食を食べてゆっくりテレビを見たい」との事です。今後夜に希望される方については検討していく予定です。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は活動し夜は安眠していただく生活パターンを心掛けながら、日々の変化に応じ90歳以上と高齢の方にはソファや居室での休息を促したり手伝いを見合わせたりと適切な支援に努めています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの性格や趣味を把握し、生活の中でそれぞれに発揮していただけるよう支援しています。家事仕事での役割分担、縫い物、習字、俳句読み等。感謝の気持ちを伝えた時の利用者の笑顔が輝きます。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時の買い物や、外食した際の支払いは支援しながら、自分の財布より支払っていただきます。又、小遣い帳を作成し、残高計算をする等の支援もしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所敷地内の広場は勿論、1ヶ月に1回は必ず全員揃って外出するよう心掛け、気分転換をしています。又、畑仕事、草取り等の屋外活動も楽しみの1つです。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	1ヶ月に1度、野外レクリエーションとして必ず外出しています。その他にもマーケットや100円ショップ、衣料店への買い物等を支援しています。又、ご家族との団らん、診察、旅行、お墓参り等の機会も支援しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に沿って電話をしたり、遠方のご家族からの電話を受けたりとそれぞれの交流を大切に支援しています。手紙が届き、返事を出したり、荷物が届きお礼の電話をかけたり、その他にも年賀状のやり取りも楽しみの一つです。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族は勿論、地域の方や友人がいつでも気軽に見えて下さり、居室でゆっくりと過ごされていきます。その際にお茶出しをしながら近況報告をしたり交流の場を写真におさめたり大変喜ばれています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、施設内研修に参加したりGH内でも伝達研修をする等、正しく理解する為の取り組みをし、職員の統一した認識としています。身体拘束ゼロ宣言をしております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	家族会にて、人権尊重の見解上大切な事だが、利用者の状態像や立地条件、社会的情勢の変化等を考慮し安全保護の面から、又、地域の方からも安心した生活を送る為の施錠の必要性が要望として強く出されております。そして、現に早朝、当事業所敷地内への不審車両侵入があり、警察からも施錠についての指導を受けています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日勤者又は夜勤者への引き継ぎを行い、更に留意すべき項目を引き継ぎノートを活用し、徹底させています。利用者の状態を把握し、安全に生活していただけるよう常に対策を立て対応しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤類や包丁、はさみ、針箱の針等に至るまで保管管理を徹底し事故防止に努めています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成し、熟知することで事故防止とし、常日頃から繰り返し指導したり研修参加で知識を深めています。中でも防災訓練については毎月行い、利用者・職員共に防災についての意識を高めるよう努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し、全職員が熟知すると共にグループホーム内研修を行っています。(例えば、心肺蘇生法・AED使用法・誤嚥防止・応急手当・止血法等)		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、防災管理者の指導により毎月、防災避難訓練を実施し利用者の人命を守る為努めています。運営推進会議時も実際に訓練を見学していただき地域の方のご協力をお願いしています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	施設サービス計画書作成時にサービス内容(リスク対応等含む)を説明し、了解していただいています。又、その都度経過説明し、対策について納得していただいております。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に平常時での状態を把握し、観察することで又、日中・夜間と引き継ぎをし、情報を共有することで異常時の発見に努め、適切な対応に努めています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの病歴を理解し、薬の用法用量を正しく知り確実な服薬をする為、事前に必ず2人で確認する事を実行しています。その後の変化も観察し記録に残しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日排便の有無を確認し、水分補給、繊維の多い食品摂取を心掛けています。又、毎日の体操の中にも腹部マッサージを取り入れたり、起床時に冷水補給したりと個々の症状に合わせて対応しています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアの声掛けや援助にて口腔内の清潔保持に努めながら風邪予防にも繋げています。又1日1回は緑茶うがいを励行しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の水分量を毎日チェックして把握することで適切な対応ができるよう取り組んでいます。法人内、管理栄養士と連携して糖尿病の方には糖尿病食を提供しています。健康面で大変良い結果が得られその効果を本人、ご家族に喜ばれております。又、栄養バランスについてアドバイスをいただいています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成し、施設内研修やグループホーム内研修で全職員が正しく理解し実行しています。手洗い・うがいの励行、手摺等のハイター消毒を日課とし記録に残し予防に努めています。中でも、ノロウイルス対策としての必要物品等取り揃え即、対応する体制を整えています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材料配達後、日付を入れ、速やかに冷蔵保管し、常に賞味期限を確認しています。布巾・まな板・台拭きのハイター消毒や、煮沸消毒を励行し、記録に残し、衛生管理に努めています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節に合わせた玄関回りの花木植えや階段壁を利用し、工夫を凝らした飾り付け等、訪問客の心を和ませるような雰囲気作りを心掛けています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは天窓を取り入れたとても明るい作りになっており採光をブラインドで調節しています。手作りカレンダーを設置したり、フロア内壁には併設施設ケアハウスの方が描かれた絵画が飾られ見る人の心を楽ませて下さっています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同志ソファで楽しくお喋りしたり縫い物をされたり時には、お互いの居室を訪問したりと和気藹々とそれぞれに共同生活を過ごされております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのあるダンス、机、椅子、テーブル等が居室に置かれ、居心地良く生活されています。又、ご家族が好みの絵画を持参し壁に掛けられたり自分の作品(俳句や刺繍等)を飾ったり工夫しています。又、ご主人のお位牌を持参され毎日手を合わせ念仏を唱えたりお茶をお供えしたりと自室を大切にされています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日、換気する時間を決め、実行し記録に残しています。又、温湿度計を置き、空調、加湿器を利用したり、ひざ掛け、夜間の湯たんぽ使用等利用者の状況に合わせて配慮しています。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロー内、居室洗面所横、浴槽内、トイレ内階段等の手摺設置、フローから各居室が見渡せる間取り等、それぞれに利用し事故防止としたり特に階段運動や室内歩行に役立てています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの能力を見極め、手伝いをお願いし共に生活しています。言葉掛けは勿論、文字を書いて貼り知らせる等工夫しています。利用者の中には毎日の出来事を手帳に記入する方もおり支援しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物周りの広場でくつろいだり、一緒に落ち葉掃き、草取り、鉢植えの水やり、畑での野菜作りと楽しんでいます。ベランダに干す干し柿も楽しみです。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域の方との交流をととても大切に考えております。同じ町内の方の利用が多く、ご家族もよく訪ねて下さり有り難いです。今年度は、町内会長さんに教えて頂いたふれ合いの会あしくぼ（民生委員、地域包括支援センター職員参加）に何回か出席し、地元民話の腹話術を聞いたり、飾り物を作ったりと楽しむ等又、夜の夏祭り、地元中学校のお茶会に誘われたり、地域の方と積極的に関わる事で支え合いの輪が広がっています。出掛ける先で馴染みの方が声を掛けて下さり住み慣れた町で安心した生活を送り笑顔の多い毎日です。そして、本館の高齢者総合福祉エリアと連携していますので健康管理面では診療所を利用し、食事面では管理栄養士による栄養バランス指導を受けることで糖尿病食提供に成果が有り、人材育成については、外部研修や施設内研修への参加、特に虐待防止についての指導は徹底しており職員は利用者の人権を守り尊重する適切な対応を身に付けております。その他活動面でも慰問や行事へ参加する機会が多く、多職種との連携により様々な支援を受け、利用者・ご家族の満足度に繋がっています。